

議 事 録

<p>事 務 局</p>	<p>て、どのような方々へアプローチをしていくのか、またこのような状況をどう分析しているのか。</p> <p>福祉のしごと相談会では、来場者が180名、そのうち施設の訪問に至った人数が40名、そして採用された人数は3、4名というのが現状である。来場者数の割には実際の採用には至っていない。来場者は転職目的の方が多い傾向だったので、来年度は大卒や卒業後3年程度の若い年齢層へアプローチをしていきたい。施設側も早い段階から育成ができるのではないかと。また、障がい者の分野の求人や申し込みが少ないので、社協が事務局を担っている社会福祉法人施設等連絡会の協力を得て開拓していきたい。</p> <p>福祉施設職員研修では、組織を向上させることを目的として今年度初めて階層別の研修に取り組んだ。内容は良いものであったが、中堅職員向けや管理職向けなど対象を絞ったため、参加者数は減少した。この取り組みはまだ1年なので、開催の時間帯を検討し、次年度も実施していきたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>介護人材開発センターでも介護分野の人材育成の研修を行っているので、そちらの事業計画もリサーチしてもらい、お互いがかぶらないように情報交換や調整をしていただきたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>社会福祉だよりについて、本当に福祉情報が必要な方に届いていないのではないかと。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>社会福祉だよりは福祉情報を伝える大きなツールの一つであり、新聞折り込みで町田市内全域に配布しているが、新聞購読者が減少傾向にある。市民センターなどの関係機関以外に、今年度は新たにジョルナに設置したが、来年度以降はさらに設置箇所を増やしていきたい。また民生委員の協力をいただいて、必要な情報が届くようにしていきたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>お店から社会福祉だよりの設置依頼はあるか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>福祉協力店には募金箱のほか、社会福祉だよりを設置している所もある。</p>
<p>委 員 長</p>	<p>他地区では、広告の一部にお店の割引券を付けることで、社協の広報紙自体に関心を持ってもらうような取り組みをしている社協がある。</p>
<p>委 員 長</p>	<p>福祉人材育成について、例えばヘルパー2級の介護従事者養成研修を市内で安く行っている所はあるか。</p>

議 事 録

委員	相場は7～10万円前後ではないか。介護人材開発センターでは5万円位で設定しようと考えている。介護職に就職しようとする人が減少しており、どこも受講生を集めるのに苦労している。
委員長	資格を取得して仕事をしたら、費用を半分補助するなどすれば良い。
委員	来場者が多くても就職に結びつかないのは、人の世話をする状況でない方も増えている現状がある。 委員長は基本目標1に関する報告について委員へ他に質問、意見を求めたが、これ以上の質問、意見が出なかったので、基本計画別まとめシート1-1の評価について委員に諮ったところ、関連事業1から4の今年度評価はいずれもAとなった。さらに基本計画別まとめシート1-2の評価についても委員に諮ったところ、関連事業1から2の今年度評価はいずれもAとなった。続いて基本目標2に関する報告について委員へ質問、意見を求めた。
委員	町田市が取り組んでいる地区協議会と、地区社協の違いがわかりにくく、どちらか一つのものにならないか。
事務局	地区協議会は、各市民センターをベースに作る構想であり、地区社協は顔が見える関係のもっと小規模のものである。
委員	確かにそうだが、地区協議会は地区をさらにブロックに分けている。
事務局	市民にとってわかりにくいので、今後は町田市と話し合いが必要と思われる。
常務理事兼事務局 局長	地区社協は2008年策定の第二次地域福祉活動計画の中で重点事業として位置づけられ、2010年に玉川学園地区社会福祉協議会が誕生した経緯がある。地区協議会よりも地区社協の方が早くから計画されており、互いの主体性を尊重しながら住民の視点を忘れずに取り組んでいきたい。
委員	出張講演会出席者へのアンケート結果はどうだったか。また地区社協の講演会の依頼がなかったということだが、それについてはどのように考えているのか。
事務局	地区社協のイメージが、市民にとって敷居が高く感じられているのかもしれない。東社協が作成した住民活動やネットワークづくり

議 事 録

	<p>に関するビデオがわかりやすく、地区社協を理解してもらうには効果的だが、出張講演会の依頼の段階で地区社協の話は必要ないと言われてしまう。今後は地区社協という言葉を中心にアプローチしていきたい。一方、防災や近隣との関わりについては関心が高いので、防災を切り口とした地区社協の全身となるような形をまずは目指していきたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>地区社協は地区のリーダーがいなくなかなか進まないのが現状である。</p>
<p>委 員 長</p>	<p>地区社協以外の町田独自のネーミングなど検討してみてもどうか。</p>
<p>常 務 理 事 兼 事 務 局 長</p>	<p>実際に南町田では地区社協という名称を使っていない。</p> <p>委員長は基本目標2に関する報告について委員へ他に質問、意見を求めたが、これ以上の質問、意見が出なかったため、基本計画別まとめシート2-1の評価について委員に諮ったところ、関連事業1の今年度評価はAとなった。さらに基本計画別まとめシート2-2の評価について委員に諮ったところ、関連事業1の今年度評価はB、関連事業2と3についてはAとなった。続いて基本目標3に関する報告について委員へ質問、意見を求めた。</p>
<p>委 員</p>	<p>学童保育クラブについて、4年生以上の利用希望は調査しているか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>夏休みなど学校が長期の休みの時の利用希望は把握している。現在は、まちとも（町田市放課後等子ども遊び場見守り事業）や習い事などで時間を費やしているようだが、町田市でもこの点については検討をし始めている。</p>
<p>委 員</p>	<p>成年後見人等の需要が高まっていると思うが、現在の状況はどうなっているのか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>弁護士、司法書士、社会福祉士の団体に候補者の依頼をしているが、町田市内で動ける専門職はすでに担当しているケースで手一杯であり、今は個人へ直接依頼し、ようやく引き受けていただけるような状況である。場合によっては家庭裁判所に一任することもある。市民後見人で対応できそうな案件は市民後見人に依頼し、専門職向けの場合は重点的に専門職に依頼する方針である。</p>
<p>委 員 長</p>	<p>今後、認知症の高齢者が増加するので、成年後見人等が不足する</p>

議 事 録

<p>委 員</p>	<p>のは明らかである。市民後見人の必要性が高まっている。</p> <p>対応困難事例の中身はどのようなものだったか。</p> <p>大きく分けて2つの傾向があることがわかった。1つ目は、サービスや制度があっても世帯の状況で対象にならないケースや地域生活を送るには既存のサービスだけでは不足で制度の狭間を埋めるサービスがなく対応困難になっているケース。そして2つ目は、分野別や業種別業務により各々の役割が決められており、複雑で多様化した問題について一機関だけでは解決できないケースである。前者については新たなサービスの積極的開発、後者については専門職同士の連携や総合化に向けた仕組みづくりが求められる。具体的な内容としては、高齢者の母親と統合失調症の子の2人暮らしの世帯で高齢者支援センターは関わっているが、統合失調症の子どもにはどこの機関もつながっていないケースがあった。また他のケースでは、いろいろな機関や団体に相談したが的確な対応がされず、最終的に社協と連絡となることが多い。</p>
<p>委 員 長</p>	<p>対応困難ケースは専門多職種連携チームでの対応が必要であり、場合によっては社協が取り仕切っても良いと思う。</p>
<p>委 員</p>	<p>先日の地域福祉コーディネーター養成研修で、千葉の元社協職員が社協を頼るな、NPOを立ち上げて活動すれば儲かると言っていた。とても聞いていて驚いた。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>玉川学園地区社協でも講師の依頼をしたが、そのような話はなかった。社協としては、地域に密着した活動を応援していきたい。</p> <p>委員長は基本目標3に関する報告について委員へ他に質問、意見を求めたがこれ以上の質問、意見は出なかったので、基本計画別まとめシート3-1の評価について委員に諮ったところ、関連事業1から4の今年度評価はAとなった。さらに基本計画別まとめシート3-2の評価について委員に諮ったところ、関連事業1から2の今年度評価はAとなった。続いて重点計画に関する報告について委員へ質問、意見を求めた。</p>
<p>委 員</p>	<p>生活困窮者自立支援法について、町田市との関わりや事業の方向性など社協の取り組みはどういった状況か。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>現時点で正式な依頼や動きはないが、町田市の方向性は社協に委託を考えているようだ。</p>

議 事 録

常務理事兼 事務局長	<p>東社協の事務局長会でも全体の雰囲気としては否定的であった。生活福祉資金との整合が明確になっていないこと、具体的な事業が想定できないこと、場所の確保などが課題である。</p>
事 務 局	<p>委員長は重点計画に関する報告について委員へ他に質問、意見を求めたが、これ以上の質問、意見が出なかったため、本日の検討事項はすべて終了したため、委員長はその他の事項について事務局に報告を求めた。</p>
閉 会	<p>事務局は、次回の日程について6月下旬とし、具体的な日程は改めて通知することを報告した。</p> <p>以上で全ての内容が終了したため、会長は本日の審議協力に礼を述べ閉会とした。</p>